

幸手市立上高野小学校 学力保障グランドデザイン

学校教育目標

総括目標「挑戦し続ける子」

- よく考える子
- 思いやりのある子
- 元気な子

学校研修課題

知識を活用するための、思考力・判断力・表現力の育成

～言葉にこだわり、言葉を大切に（自ら問題解決できる児童を目指して）～

本年度の重点

- 1 「聴く」力の定着
- 2 「読解力」の向上
- 3 ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実

目標達成の指針

- 1 全国学力・学習状況調査 全国平均以上
- 2 埼玉県学力・学習状況調査 学力が伸びた児童の割合
- 3 幸手市統一学力調査 全国平均正答率
- 4 家庭学習 保護者の学校評価

「挑戦と創造」～伝統を継承しつつ、新たな挑戦を通して誇りを育てます～

学校の共通行動



✿ 幸手スタンダード授業V with GIGAを意識した授業展開

スタンダード with GIGAを意識し、ICTを効果的に取り入れながら「問題・課題一個の学びー学び合いーまとめー振り返り」を意識した授業を共通実践できるようにする。

✿ 児童の「挑戦」を支え、励まし、目標達成まで見届ける指導

「漢字」や「かけ算」などの日々のテストで全員が合格に向けて「挑戦」させ、合格するまで励まし支援する。合格したら、校長からミニ賞状や特製缶バッジを贈呈する。これを通して、学びに向かう力を育てる。

✿ 協働的な学びの基盤となる「道徳教育」の充実

道徳科授業を要として、全教育活動を通じた道徳教育の充実を図り、聴き合い、学び合える、支持的風土のある学級をつくる。

授業外での取組



✿ 業前活動（じっくりタイム）を活用した基礎・基本の定着と読解力の向上

毎週木曜日の業前活動の時間に、おすすめの本の紹介文を書いて紹介し合う活動や、算数の授業において定着が不十分であった問題に再度挑戦する活動を年間21回実施し、個別最適な学びを充実させ、基礎基本定着と読解力の向上を図る。

✿ 学力向上日課の実施

年3回、学力向上週間を設け、朝の1コマ目を学力向上の時間として、コバトン問題集やパワーアップシート等に取り組む。その際、管理職・担任外教員もチームを組み、習熟度別指導を行い、組織的に下位の児童の底上げを図れるよう取り組む。

✿ タブレットタイムの設定

タブレットによる学習効果を高めるとともに、来年度の県学調CBT化に対応するために、業前活動に「タブレットタイム」を年間10回ほど設ける。

確かな授業実践



✿ INPUT・PROCESS・OUTPUTの視点を持った授業改善

INPUT（必要な情報を的確に取り出す）、PROCESS（解釈・熟考する）、OUTPUT（表現する）ことを視点に、単元計画を構想し授業改善を行うことで、国語科を核として教科横断的に読解力を育む。

✿ 国語科を中心とした語彙力、言語能力の向上

国語科の授業の冒頭には、必ず「漢字の学習」や「辞書引き」などの語彙力や言語能力を高める学習活動を単元的に位置付ける。また、中学年以上では、どの教科でも辞書を活用できるようにし、教科横断的に語彙力を高められるようにする。

✿ 教科担任制の導入

中学年以上において、各教員の得意分野を生かしながら教科担任制を実施し、教材研究や教具作りをさらに充実させ、個別最適な学びと協働的な学びが豊かになる授業を展開する。

家庭・学校間連携



✿ 家庭学習強化週間の実施

年3回実施。コバトン問題集・復習シート・パワーアップシートなどの問題を中心に家庭学習の課題を出し、学んだことの定着を図る。その期間、保護者には、家庭学習のより一層の見届けや助言、家庭学習振り返り表への応援コメントの記入をお願いする。

✿ 一人一台端末の積極的な活用

学習ソフトを通して、週末を中心として一人一人に応じた課題を配信し、学びの個別化を実現し、家庭でも積極的にタブレットを活用した学習ができるようにする。

✿ 西中学校区の小・中連携強化

「読解力を高め、他者と対話しながらよりよく課題解決できる児童生徒」を学力向上面での西中学校区の目指す児童生徒像とし、年数回、互いの学校の授業を参観し合い、9か年を見通した学力向上の取組について協議していく。